



議会だより

おやま 町議会

No. 132

発行：静岡県駿東郡小山町議会



町制100周年記念事業 小山町町民体育大会及び各幼稚園、保育園の運動会

7月・8月
臨時会

9月
定例会

■ 23年度決算 原案のとおり可決	2
■ 決算審査意見書の報告	3
■ 固定資産評価審査委員に矢後良隆さんを選任 ...	5
■ 常任委員会の報告	6
■ 町政のここが聞きたい 一般質問に7人	7
■ 私の望み・議員視察研修	14

— 決算審査意見書の内容 —

平成23年度一般会計及び特別会計の歳入歳出決算などの審査意見書の報告が、監査委員からありました。主な審査意見書の内容は、次のとおりです。

I 審査の概要

1 審査の対象

平成23年度小山町歳入歳出決算（一般会計及び特別会計）

2 審査の期間

平成24年7月4日から8月7日

II 審査の結果

審査に付された一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算書及び付属書類は、いずれも法令に準拠して作成されており、関係書類簿及び証拠書類と照合した結果、決算に対する係数は正確であると確認した。

予算の執行については、議決の趣旨に沿い、おおむね適正に執行されており、

翌年度へ繰り越された事業を除き、所期の成果を得たと認められる。

例月出納検査や定期監査及び本審査において指摘あるいは指導した事項については、今後十分留意し、検討または改善の措置を講ずるよう要望する。

III 審査の意見

平成22年の台風9号による災害復旧を第一に取り組み、町民の安全・安心を確保するため、他の施策に対しても優先して災害復旧事業に取り組みなければならぬ状況下での厳しい財政運営であった。今後も、災害復旧事業、小山中学校改築事業、北郷小学校附属補強事業等に取り組み必要があるため、今後数年間は、厳しい財政運営となることが予想されることから、将来的に持続可能な財政の健全化を図るよう努められたい。

財政比率の推移

年 度	財政力指数 (単年度)	経 常 収 支 比 率	実質公債費 比 率
23	0.934	79.2	13.9
22	0.947	79.8	14.5
21	1.018	83.3	14.6
20	1.084	81.5	14.4
19	1.146	78.6	14.2

○財政力指数

財政力を判断する指標となるもので、数値が「1」を超えるほど財源に余裕があるとされている。「1」以上ならば、普通交付税が交付されない。

○経常収支比率

財政構造の弾力性を判断する指標として用いられ、70～80%程度の範囲なら妥当とされている。

○実質公債費比率

標準財政規模に対する実質的な公債費（町の借金返済）相当額の割合。3年間の平均値を使用する。比率が18%以上は、地方債の発行に対する県の許可が必要、25%以上は地方債の発行に対し制限される。

決算質疑ヒックアップ

大規模な崩壊、崩落とスコリア土壌の流出の対応策

Q 角取線災害復旧工事費のうち、約1千700万円が繰越しされている。あれだけ大規模な崩壊、崩落とスコリア土壌の流出を抜本的に対処していくには、県などとも調整して本格的な対策をとっていかねければならぬと思うが。

A 平成22年9月の台風災害によって、スコリア土壌の山腹崩壊が拡大し、土砂が流出する被害が発生しています。これらに対応するため小山町山地強化対策協議会を設置し、この問題を検討しています。町の行政アドバイザーに防災の視点より講演をいただき、同対策協議会の行政部会として、国、県、学識経験者あるいは専門業者等の関係機関で構成し、情報交換や技術の検討を行っています。

Q 財政力指数に見られる連続的低下傾向をどう見るのか
A 本町の財政力を判断する

指標である財政力指数は、平成19年度から連続して減少し、平成22年度から普通交付税の交付団体になっている。

この財政力指数に見られるような連続的低下傾向をどう見るのか。
A 財政力指数の点ですが、普通交付税の算出根拠である標準的な財政収入額から計算される基準財政需要額との比率により、算出されています。

小山町における基準財政収入額を過去5年間で見比べてみると、19年度には41億6千500万円あったものが、平成23年度には35億8千100万円となり、5億8千400万円、14%の減少となっています。これが財政力指数の低下につながっていると考えています。

町の歳入の基幹であります町民税や固定資産税の減少等が主な原因ですが、今後も増収が見込めないことが予想されますから、財政力指数におきましても引き続き低下傾向にあるものと考えています。

7月臨時会

7月2日に第3回臨時会が開かれました。

当局から「静岡県市町総合事務組合規約の一部を変更する規約について」「工事請負契約の締結について」「平成24年度 北郷小学校 北校舎・給食棟耐震補強工事」「訴えの提起について」が提出され、審議した結果、原案のとおり全員賛成で可決しました。

静岡県市町総合事務組合規約の一部を変更する規約について

静岡県市町総合事務組合の構成団体である「共立養病院組合」の名称が「一部事務組合下田メディアカルセンター」に変更されることに伴う規約の変更です。

工事請負契約の締結について

「平成24年度 北郷小学校 北校舎・給食棟耐震補強工事」

工事の内容は、北校舎と



▲耐震補強工事が予定されている北郷小学校及び給食棟

給食棟の耐震性を向上させるため、補強を行うものです。

日幸産業株式会社と1億3千20万円で工事請負契約するものです。

工事の完成予定期日は平成25年3月15日です。

訴えの提起について

町営住宅使用料の滞納額が多額な入居者に対して、住宅の明渡しと滞納使用料の支払いを求めるために訴えを提起するものです。

8月臨時会

8月7日に第4回臨時会が開かれました。

当局から「専決処分の承認を求めることについて」「一般会計補正予算(第4号)」「工事請負契約の締結について」「平成24年度東富士演習場関連公共施設整備事業 須走排水路整備工事」が提出され、審議した結果、原案のとおり全員賛成で可決しました。

専決処分の承認を求めることについて

「一般会計補正予算(第4号)」

今年の台風4号により、林道施設、公共土木施設、観光施設及び公園施設が被害を受け、緊急に復旧工事を行う必要が生じたため、3千84万6千円を追加し、歳入歳出の総額を79億1千859万円としたと共に、地方債の補正を行ったものです。

工事請負契約の締結について「平成24年度 東富士演習場関連公共施設整備事業 須走排水路整備工事」

工事内容は、普通河川須走排水路の下流域未整備区

間の荒廃防止と防災機能向上を図るため、護岸及び河床を整備するものです。日幸産業株式会社と5千229万円で工事請負契約を締結するものです。工事の完成予定期日は、平成25年3月19日です。



▲平成22年災害の復旧を予定している須走排水路の下流付近

9月定例会

条例制定等

当局から「静岡県後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約について」「小山町営住宅家賃管理条例の制定について」「小山町教育委員会の委員等に対する報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について」が上程され、審議し、原案のとおり全員賛成で可決しました。

補正予算

一般会計

一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ3億4千537万7千円を追加し、総額82億6千398万7千円とすることを、全員賛成で可決しました。

歳入の主なもの

250万円増額
商工費県補助金

湯船原地区の開発可能性調査業務に対して補助された。

歳出の主なもの

7千222万円増額
財産管理費
(基金管理費)

防衛9条交付金を保育園の運営に関する事業などのソフト事業に充てるため、東富士演習場関連特定事業基金へ積み立てるもの。

北郷保育園

185万円増額
改築事業費

駐車場整備に係る測量、設計等の委託料150万円が主なもの。

道の駅地域振興センター

300万円増額
管理費

道の駅「ふじおやま」の

る工業用地開発可能性基本調査費補助金として増額するもの。

土木費寄付金

170万円増額

一色正倉線歩道整備のため一色郷栄会様から寄附をいただいたもの。

空調室外機の修繕料200万円と道の駅「ふじおやま」のリニューアルに向けた調査、企画、設計の委託料100万円。

進入道路拡幅

1億1千500万円増額
工事受託事業費

医療法人社団青虎会から進入路である町道2076号線の道路改良事業を委託されたことによるもの。

特別会計

平成23年度決算にともなう補正が大きな理由であり、全員賛成で可決しました。

国民健康保険

歳入歳出それぞれ2千356万3千円を追加し、総額19億2千356万3千円とするもの。

育英奨学資金

歳入歳出それぞれ126万円

を追加し、総額576万7千円とするもの。

後期高齢者医療

歳入歳出それぞれ266万1千円を追加し、総額1億9千585万2千円とするもの。

下水道事業

歳入歳出それぞれ60万円を追加し、総額1億7千411万4千円とするもの。

介護保険

歳入歳出それぞれ3千624万6千円を追加し、総額15億4千624万6千円とするもの。

原案のとおり全員賛成で可決しました。

町道路線の廃止及び認定

2路線は再編、1路線は新設するもの。
※2議案すべて全員賛成で可決しました。

控訴の提起

町が設置した観光案内板

を損壊させられたことによる損害賠償請求事件に係る第一審判決に対し、控訴を提起しようとするもの。

固定資産評価審査委員会

矢後良隆さんを選任

固定資産評価審査委員の任期満了に伴い、矢後良隆さん(藤曲)を新しく選任することに同意選任しました。
任期は、平成24年10月1日から平成27年9月30日までです。

意見書の提出

◎東富士演習場からの土砂流出に係る恒久的な対策を求める意見書。
◎地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書。

◎内容については7ページ最下段に記載してあります。
※2議案すべて全員賛成で可決しました。



▲改築事業が予定されている北郷保育園

総務建設委員会の報告

付託された6議案と 決算4件の審査

委員長 米山千晴



▲中日向地先の町道を視察する委員

9月定例会で総務建設委員会に付託されました議案6件を審議及び採決しました。

①議案43号小山町営住宅家賃管理条例の制定は可決

②議案44号小山町教育委員会の委員等に対する報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例は可決

③議案45号町道路線の廃止は可決

④議案46号町道路線の認定は可決

⑤議案47号平成24年度一般会計補正予算は可決

⑥議案51号平成24年度小山町下水道事業特別会計補正予算は可決

Q 湯船原地区開発調査費500万円は、内陸フロンティア事業のようだが。

A 内陸フロンティアは、新東名高速道路開通を契機とする内陸部の開発等に關する特区を申請するもので、国に対して、県が申請予定のものが、現時点で構想が固まっていない。

審議の結果可決しました。引き続き平成23年度各会計の決算について審議しました。代表的な審議は、

Q 富士新工場長宅跡地を1千55万1千780円で購入したが、今後の活用構想は。

A 県道の交差点改良の設計が完成後、土地と建物を一体として有効利用して、売却していく予定。

以上審議の結果全会計とも認定及び可決しました。以上報告とします。

文教厚生委員会の報告

付託された5議案と 決算5件の審査

委員長 桜井光一



▲須走小学校放課後児童クラブの視察をする委員

文教厚生委員会は9月12日に開催され、5議案と決算5件の審査を行いました。主な内容は次のとおりです。

※平成24年度一般会計補正予算(第5号)

Q 地震対策費の修繕料50万円でフェンスを設置するグラウンドは無償貸借か。

A 期間はどれほどか。避難場所として適切か。近隣にも避難場所があるが、さらに避難場所が必要か。平常時の使用はどう考えているのか。

A 現在協議中ですが、無償貸借の予定です。期間は協議中です。地震災害時の使用を想定しています。町としては多くの避難地を確保していきたいと考えています。平常時は、地域の方々がグラウンド等として使用する事を考えています。

Q 児童福祉費149万6千円の事業内容を具体的に説明して下さい。

A 児童虐待への体制強化の為、応急対応用公用車を購入する費用です。

※平成23年度一般会計歳入歳出決算。

Q 一時的保育を年間延べ28人が利用しているが利用理由は何か。

A 仕事で162人、通院82人等です。

Q 東日本大震災を受けて、各学校・園の防災マニュアル等の見直しは。

A 見直しの指示をし、各学校・園で見直し中。

付託案件は、すべて原案のとおり可決されました。

● 一般質問 ●

町政のここが聞きたい



高畑博行

あしがら温泉の飲食物持ち込み禁止が突然実施されて以来、利用者の不満の声が絶えない。

Q どういう理由から、誰の考えで持ち込み禁止の方針をとったのか。また、禁止の理由を町民に丁寧に広報したのか。

A 町長 温泉の出業者や納入業者を交えて話し合いをした結果、利用者の利便性を図るために、販売価格やメニューの見直し、販売品目の多様化を図り、軽食コーナーを充実させることで、館内への飲食物の持ち込み禁止を決定しました。広報については、館内や入口に予告の貼り紙や立て看板を

設置して、利用者に周知を図りました。

Q 「町民いいの家」という観点から、利用者が憩える場所であるはずなので、ある程度の持ち込みは認めてやるべきではないのか。

A 町長 指定管理者制度の導入を予定していますので、指定管理者の意向も踏まえ、検討していきます。



▲あしがら温泉の休養場内にある食堂

Q あしがら温泉の飲食物「持ち込み禁止」の方針をとったのは

A 軽食コーナーを充実させることで館内への飲食物持ち込みの禁止を決定しました

入を予定していますので、指定管理者の意向も踏まえ、検討していきます。

町内にある公共の広場や公園の草刈りや立ち木の剪定等の管理がよくない。すばらしい施設設備も宝の持ち腐れになる。

Q 現在ある仕様書の内容を見直し、もっと高めめにやることはできないのか。

A 町長 いずれの施設も限られた予算で管理しているため、仕様書を見直し、実施回数を増やすこと

は難しいと考えますが、草木の成長に合わせて作業の実施時期を調整するなど、最も効果の上がる管理方法を検討し、対応していきます。

Q 各広場や公園の管理主体がバラバラで統一されていない。もっと一元化した管理体制はとれないのか。

A 町長 各施設の管理は、現場に精通している担当課が状況を見ながら対応しているため、現状の管理体制で行うことが良いと考えますが、今後、委託発注の一本化による経費の節減などを含め、効率的な管理方法について研究・検討していきます。

2 意見書の提出

東富士演習場からの土砂流出に係る恒久的な対策を求める意見書

基本射撃場跡地宿営地から流出した雨水、土砂等により、須走多目的グラウンド等の被災や道の駅の営業への影響が発生している状況にあるため、速やかに、東富士演習場からの土砂の流出事故について、恒久的な防災対策工事を実施するよう、強く要望する意見書です。



地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書

平成24年10月に導入された「地球温暖化対策のための税」の一定割合を、地方に、森林面積に応じて譲与する仕組みを構築することを求める意見書です。

● 一般質問 ●

一般質問に7人の議員が町の方針をただしました



池谷 弘

Q フルマラソン開催を

A 安全確保など多くの課題を解決し、開催に向けて可能な限り協力していきます

東京マラソンは経済波及効果、スポーツや観光振興で大きな成果を上げています。フルマラソンにより駅前前の活性化や町の文化遺産をめぐること、全国に小山町のPRが図れます。6千名余の参加者が見込めるマラソンの公道使用許可等には行政が実施主体であることが求められています。

Q フルマラソン開催に向けて小山町が主体的に活動していただけるか伺います。

「全国ランニング大会」に選ばれている「富士マラソンフェスタ」の大会でフルマラソンを行うこととなれば、交流人口の増加による経済効果が望

め、町の活性化にも繋がる

と考えられます。フルマラソンは、長時間にわたる交通規制など町民の皆さんの御理解御協力がなければできません。また、町内を数千人のランナーが走ることで予想されるため、安全確保など多くの課題を解決し、開催に向けて町も可能な限り協力していきたいと考えています。

平成27年度に新ごみ処理施設が稼働することによりRDFセンターが稼働停止となります。隣接地に町有地があり、周辺には足柄サービスエリアもある将来の小山町発展の地域です。このため早い段階で周辺地域を含めた将来計画策定が重要です。



▲富士マラソンフェスタ会場となっている富士スピードウェイ

Q RDFセンターや周辺地域の活用予定について伺います。

RDFセンター解体後、RDFセンター解体後の跡地利用については、当該地が、広域行政組合の所有地であること、都市計画法の手続きが必要である

A 町長 RDFセンター解体

こと。また、足柄サービスエリアにスマートインターチェンジについては、御殿場市と協議を始めています。設置された場合には、物流を含めた交通の流れが変わるので、関係機関と協議し、検討していきたいと考えています。さらに、土地利用に関する協議機関の設置をはじめ、地域の皆様のご意見を伺った上で、検討していきたいと考えています。

災害復旧対策 特別委員会

平成24年9月5日(水)に現地視察を実施しました。平成22年9月8日の台風9号で被災した福進川と町道1448号線の被災状況と復旧工事の進捗状況を建設課職員の説明を受け、問題点等の確認をしました。

その後、役場の会議室において、国土防災技術株式会社を招き、「山林災害に対する分析と今後の対応について」の勉強会を行いました。スコリアの流出対策等について、協議しました。



● 一般質問 ●



池谷 洋子

いじめについては教員も親も「子どもの視点」に立ち小さな変化も見逃さない態勢の整備が必要です。

学校、教員、親、地域、そして子ども同士がいじめのない学校づくりについて話し合い信頼を築くことが大切だと考えます。いじめ根絶や教育の在り方を見直す上で何が伺います。

Q いじめはいじめた側が100%悪い。いじめは「犯罪」であり、「人権侵害」との理念の浸透は。

A 教育長 全体で、教育界「いじめは人間として絶対に許されない」をキーワードにいじめ対策を進めていきます。御質問の理念は、指導の現場に十分浸透し、指導がされていると考えています。

Q 「いじめ防止対策」の強化を

A 「いじめは人間として絶対に許されない」をキーワードに

対策を進めています

Q 早期発見の体制構築は。

A 教育長 日常の相談活動

の充実、アンケートや個別面談、個人ノートや生活ノートなどの日記指導、家庭訪問や保護者面談で把握できるような体制をとっていきます。

Q いじめ発見時の対応を誤らないための教員研修は。

A 教育長 指導の中心となる各校の生徒指導担当者は、年8回の小山町生徒指導部研修会などに参加し、実践的な生徒指導対応のスキルを高めています。

Q 教員の事務作業を削減し、子どもと

れ合う時間を確保すること

A 教育長 会議、出張などを精査し、教員の事務作業の軽減を図っています。

Q 仮称「いじめ防止条例」の制定については。

A 教育長 現時点では考えられていませんが、今後情報を

収集していきたいと考えています。

Q 被害者の保護、加害者への措置、両者の心のケア、再発防止と

A 教育長 五つの基本方針をもとに認知した学校と町教育委員会が連携して状況に応じた指導を行います。



▲ 町の子ども相談室となっている「なのはな」

「なのはな」 北郷幼稚園の園舎内にあり、こどもに関する相談を主に行っているところです。



田んぼアート

「町制100周年記念事業」として、「田んぼアート」を実施しました。稲の生育状況を御覧いただくために、道の駅「ふじおやま」に展望台を設置するとともに、毎週リアルタイムで小山町のホームページに写真を掲載しました。土地所有者の常盤十四雄氏の管理のおかげで稲も立派に育ち、「小山町」100「富士山のデザイン」などがきれいに浮き上がりました。平成24年9月27日(木)には議員全員と農業委員会の協力のもと、稲刈りを行いました。

● 一般質問 ●



込山恒広

Q 駿河小山駅の駅舎活用を

A 町民会議などで地域の皆様の

意見を伺い、駅舎周辺の活用を

検討していきます

人口減少に歯止めがかからず、平成23年度決算を見ても税収等も減少しております。一方、駿河小山駅も乗降客の減少で無人駅になり、町の産業も衰退しており、元気がないといっても過言ではないと思います。

案内所を利用して、待合機能の充実を図り、観光情報の発信や特産品の販売を行い、駅利用者への利便性の向上を図っていききたいと考えています。

また、今後の駅舎の利用方法については、

Q 町長は、前回の質問で、「観光情報の発信や特産物の販売などの利便性の向上を図っていきます。」と答えましたが、結果として観光協会事務所を利用すると聞いております。

人が常時通る駅舎で、情報発信基地や特産商品の販売を行うてはいかがですか。

A 町長 当面は、駅前観光

案内所を利用して、待合機能の充実を図り、観光情報の発信や特産品の販売を行い、駅利用者への利便性の向上を図っていききたいと考えています。

また、今後の駅舎の利用方法については、

町長は、前回の質問で、「観光情報の発信や特産物の販売などの利便性の向上を図っていきます。」と答えましたが、結果として観光協会事務所を利用する



▲観光協会事務所と駿河小山駅舎

を含んだ周辺地域の活用について、検討していききたいと考えています。

Q 新しい優良企業は

何社ありますか。又、進出企業と町内中小企業のビジネスマッチング等はどうのように展開される計画ですか。

A 町長 用沢地区に建設された清涼飲料水工場「箱根の恵みビバレッジ株式会社」と富士小山工業団地内の(有)小寺製材所の2社です。

町長は、前回の質問で、「観光情報の発信や特産物の販売などの利便性の向上を図っていきます。」と答えましたが、結果として観光協会事務所を利用する

おやまハンドレッドフェスティバルに参加しました

平成24年8月6日(日)に開催されたおやまハンドレッドフェスティバル「働く車のパレード」に参加しました。

町議会議員はお百姓さんの姿に仮装し、コンバインやリヤカーなどを動かしながら、文化会館の通りを行進しました。また、議員が栽培した野菜も配りました。

沿道からの多くの声援をありがとうございました。



● 一般質問 ●



桜井 光一

Q 生涯学習課施設外灯の管理体制は
A 外灯数の見直しを
含めて、総合的に判断し、
検討していきます

検討していきます

Q 町民体育館と文化会館の
駐車場周辺と小山球場と多
目的グラウンド周辺に外灯
が多数あるが、全てに錆が
発生しており、ベンキが剥
がれ落下、倒壊の恐れが多
分にある。当施設は町民は
もとより県内外の利用者
も多く、また朝夕の散歩や
ジョギングコースとしても
人が多く集まる所であり、
安心安全が最も重要視され
る場所である。

Q 上記場所に外灯は
合計何基あるか。

A 文化会
館側に20
基、グラウンド側に33基合
計53基、ホテルの里周辺に
小外灯が6基あります。

Q のたまり場となる対策とし
て警察からの助言を受け点
灯していませんが、消灯の
電灯を調査したところ、11
基が配線の腐食、12基が電
球切れ、小外灯6基も配線
不良を確認しました。

Q 電球がないガラス
が破れている所は即
修理するの。

Q 現在夜間は点灯し
ているか。

A 定期点検はどのよ
うな形で行っている
か。

Q 支柱のベンキはい
つ塗って以来か。

Q 点灯しない外灯は
何基あるか。その原
因は。

A 業者に
よる定期
点検は実施していません。

Q 今の外灯の状況を
当局はどう思ってい
るのか。

A 訪れる
方々に良
いイメージを持たれませ
ん。今後、消灯や点灯して
いるもの、腐食の度合や各
施設における外灯数の見
直しを含めて、撤去が取替
か、又は修繕かを総合的に
判断し検討していきます。

Q 外灯の
管理につ
きましては、厳しい財政状
況もあり、十分な維持が行
えない状況であります。以
下質問順にお答えします。
電球の取替で対応してい
きます。

A 外灯の
管理につ
きましては、厳しい財政状
況もあり、十分な維持が行
えない状況であります。以
下質問順にお答えします。
電球の取替で対応してい
きます。

Q 42基で、節電対
策のほかグラウン
ド側は午後5時ま
での利用時間であ
るため、夜間若者

A 文化会館周辺施設の外灯

Q 平成6年頃の新設
とかが支柱のベン
キの腐食が原因で
支柱が折れたこと
から、支柱のベン
キの塗り替えが
必要か。

A 業者
による定期
点検は実施して
いません。

Q 今の外灯の状況を
当局はどう思ってい
るのか。

A 訪れる
方々に良
いイメージを持たれませ
ん。今後、消灯や点灯して
いるもの、腐食の度合や各
施設における外灯数の見
直しを含めて、撤去が取替
か、又は修繕かを総合的に
判断し検討していきます。

Q 訪れる
方々に良
いイメージを持たれませ
ん。今後、消灯や点灯して
いるもの、腐食の度合や各
施設における外灯数の見
直しを含めて、撤去が取替
か、又は修繕かを総合的に
判断し検討していきます。

A 訪れる
方々に良
いイメージを持たれませ
ん。今後、消灯や点灯して
いるもの、腐食の度合や各
施設における外灯数の見
直しを含めて、撤去が取替
か、又は修繕かを総合的に
判断し検討していきます。

Q 今の外灯の状況を
当局はどう思ってい
るのか。

A 訪れる
方々に良
いイメージを持たれませ
ん。今後、消灯や点灯して
いるもの、腐食の度合や各
施設における外灯数の見
直しを含めて、撤去が取替
か、又は修繕かを総合的に
判断し検討していきます。

Q 訪れる
方々に良
いイメージを持たれませ
ん。今後、消灯や点灯して
いるもの、腐食の度合や各
施設における外灯数の見
直しを含めて、撤去が取替
か、又は修繕かを総合的に
判断し検討していきます。

A 訪れる
方々に良
いイメージを持たれませ
ん。今後、消灯や点灯して
いるもの、腐食の度合や各
施設における外灯数の見
直しを含めて、撤去が取替
か、又は修繕かを総合的に
判断し検討していきます。

Q 今の外灯の状況を
当局はどう思ってい
るのか。

A 訪れる
方々に良
いイメージを持たれませ
ん。今後、消灯や点灯して
いるもの、腐食の度合や各
施設における外灯数の見
直しを含めて、撤去が取替
か、又は修繕かを総合的に
判断し検討していきます。

Q 訪れる
方々に良
いイメージを持たれませ
ん。今後、消灯や点灯して
いるもの、腐食の度合や各
施設における外灯数の見
直しを含めて、撤去が取替
か、又は修繕かを総合的に
判断し検討していきます。

A 訪れる
方々に良
いイメージを持たれませ
ん。今後、消灯や点灯して
いるもの、腐食の度合や各
施設における外灯数の見
直しを含めて、撤去が取替
か、又は修繕かを総合的に
判断し検討していきます。

Q 今の外灯の状況を
当局はどう思ってい
るのか。

A 訪れる
方々に良
いイメージを持たれませ
ん。今後、消灯や点灯して
いるもの、腐食の度合や各
施設における外灯数の見
直しを含めて、撤去が取替
か、又は修繕かを総合的に
判断し検討していきます。

Q 訪れる
方々に良
いイメージを持たれませ
ん。今後、消灯や点灯して
いるもの、腐食の度合や各
施設における外灯数の見
直しを含めて、撤去が取替
か、又は修繕かを総合的に
判断し検討していきます。

A 訪れる
方々に良
いイメージを持たれませ
ん。今後、消灯や点灯して
いるもの、腐食の度合や各
施設における外灯数の見
直しを含めて、撤去が取替
か、又は修繕かを総合的に
判断し検討していきます。

Q 今の外灯の状況を
当局はどう思ってい
るのか。

A 訪れる
方々に良
いイメージを持たれませ
ん。今後、消灯や点灯して
いるもの、腐食の度合や各
施設における外灯数の見
直しを含めて、撤去が取替
か、又は修繕かを総合的に
判断し検討していきます。

Q 訪れる
方々に良
いイメージを持たれませ
ん。今後、消灯や点灯して
いるもの、腐食の度合や各
施設における外灯数の見
直しを含めて、撤去が取替
か、又は修繕かを総合的に
判断し検討していきます。

A 訪れる
方々に良
いイメージを持たれませ
ん。今後、消灯や点灯して
いるもの、腐食の度合や各
施設における外灯数の見
直しを含めて、撤去が取替
か、又は修繕かを総合的に
判断し検討していきます。

Q 今の外灯の状況を
当局はどう思ってい
るのか。

A 訪れる
方々に良
いイメージを持たれませ
ん。今後、消灯や点灯して
いるもの、腐食の度合や各
施設における外灯数の見
直しを含めて、撤去が取替
か、又は修繕かを総合的に
判断し検討していきます。

Q 訪れる
方々に良
いイメージを持たれませ
ん。今後、消灯や点灯して
いるもの、腐食の度合や各
施設における外灯数の見
直しを含めて、撤去が取替
か、又は修繕かを総合的に
判断し検討していきます。

A 訪れる
方々に良
いイメージを持たれませ
ん。今後、消灯や点灯して
いるもの、腐食の度合や各
施設における外灯数の見
直しを含めて、撤去が取替
か、又は修繕かを総合的に
判断し検討していきます。

Q 今の外灯の状況を
当局はどう思ってい
るのか。

A 訪れる
方々に良
いイメージを持たれませ
ん。今後、消灯や点灯して
いるもの、腐食の度合や各
施設における外灯数の見
直しを含めて、撤去が取替
か、又は修繕かを総合的に
判断し検討していきます。

12月定例会のお知らせ

12月定例会は次のように開催する予定です。

- ◆11月30日 開会
- ◆12月4日 一般質問
- ◆12月6日 総務建設委員会
- ◆12月7日 文教厚生委員会
- ◆12月13日 常任委員会委員長の審査報告、質疑、採決

※変更になる場合があります。

※訂正とお詫

前号(8月1日号No.131)の一般質問の記事の中の回答者職名に誤りがありました。4頁3段目、6頁1段目及び9頁2段目の回答者「町長」は、正しくは「教育長」です。お詫びして訂正いたします。

● 一般質問 ●



湯山 鉄夫

Q 防災関連諸事項を一括統合して

条例化の形成を

A 今後、防災基本条例について

検討をしていきます

Q 平成22年9月8日の台風9号により我が町は豪雨洪水被害を受け激甚災害として経験しています。また、平成23年3月11日の東日本大震災により、地震等による被災の恐ろしさを感じています。

これらを教訓として捉え、災害から町民の生命を如何にして守るか、地震・水害・噴火等「いざ」の時を想定し平時での備え、発生時の迅速な活動減災対応、収束後の復旧復興、各災害の態様に必要事項を定め防災力を高め、安心な町を構築する必要があります。

そのため、防災に関する基本的な事項について町災

害防止条例として制定する考えはありますが。

A 町長

東日本大震災など、災害の恐ろしさや防災、減災の重要性は十分に認識されています。災害から生命や財産を守るためには第一に、町民自身が守るという意識が重要です。

そのためには、すべての町民が防災に関する知識の習得や生活必需品の備蓄、地域との連携などの努力義務



▲9月3日に役場で行われた防災訓練の写真

の目標を共有し、町民としての責務を自覚し、それぞれの立場から力を合わせる

ことにより、安全なまちを築いていきます。それには、「自助」、「共助」、「公助」のそれぞれの役割を明確に定める必要があります。さらに、予防としての日頃の準備、災害発生時の応急対応、発生後の復旧までを一連の対策とし、防災力を充実に強化していくためにも、町の防災対策の基本姿勢や重点施策を明らかにする条例制定は必要と考えます。

今後は、町民の皆様にも防災行政に参画していただきながら、地域防災計画の修正を行い、国の防災基本計画や静岡県との連携策推進条例とも整合をとりながら、防災基本条例について検討していきます。

本会議等以外の
議会の活動状況
(7月～10月)
※全議員参加のもの

- ◆7月13日(金) 小山町こども議会
 - ◆7月27日(金) 富士山 ネットワーク会議講演会
 - ◆7月28日(土) 第48回金太郎夏まつり
 - ◆8月1日(水) 町制施行100周年記念式典
 - ◆8月5日(日) おやまハンドレッドフェスティバル
 - ◆8月6日(月) 道の駅「富士吉田」視察 静岡県市町議会 全議員研修会
 - ◆8月11日(土) (静岡市) タンシップ
 - ◆第33回富士山一斉清掃
 - ◆8月24日(金) 富士山旧登山道視察
 - ◆8月30日(木) 議会町内視察研修(町内企業)
 - ◆9月9日(日) 第41回定柄峠まつり
 - ◆9月15日(土) 小山町敬老会
 - ◆10月8日(日) 町民体育大会
 - ◆10月23日(火)～25日(木) 議会県外視察(鹿児島県 さつま町、鹿兒島市)
- 他にも、各委員会委員等としての活動もありました。

● 一般質問 ●



廣嶋 邦彦

Q 道の駅「ふじおやま」の

管理について

A 売り場面積を拡張するために

リニューアルをしました

Q 地域交流ルームは、たすで、使用面積を決定し 売施設となりますので、売
改修前の半分以下に ました。使用料は、物産販 上げの5%となっております。

開駅8年目を迎えた道の
駅「ふじおやま」ですが、
平成24年2月にリニューアル
をし、新しい道の駅に生
まれ変わりました。道の駅
「ふじおやま」地域振興セ
ンターの設置及び管理に関
する小山町条例から次の点
について伺います。

Q 地場産品展示室に
農産物出荷組合の店
が移ったが、売り上げに対
する使用料率の変更はあつ
たのか伺う。

A 町長 農産物出
荷組合の販
売場所は移転しましたが、
農産物直売所として使用し
ていますので、使用料の変
更はありません。

Q この販売面積
と使用料はどの
ように決められ
たのか。

A 町長 売り場面積の
拡張による活性
化を目的にリ
ニューアルを企
画し、各テナン
トの売り場配置
に関するレイア
ウト図を作成し



▲ 道の駅「ふじおやま」

※ その他に町民いこいの家「あしがら温泉」の管理について質問をしました。

議会改革調査特別委員会



小山町議会改革調査特別
委員会は平成24年3月15日
(木)に第1回の委員会を
開催してから、毎月1回の
ペースで委員会を開催して
います。6月21日(木)に
は大磯町議会へ行き、議会
改革の取り組み状況を視察
してきました。会議の位置
付け、一般質問のあり方、
会議の公開のあり方等の検
討をしています。小委員会
を立ち上げ、細かな部分の
検討に着手しているものも
あります。
今後、協議が整い、条件
がそろったものから順次、
条例や規則の改正を行い、
実施していく予定です。

一私の望み一

No.5



矢後 天 暉 (成美小6年)

明るい小山町

ぼくは小山町が好きです。その理由は、小山町は緑が多く、水もきれいで、とてもかん境がいいからです。それから、日本一の富士山もあります。今、その富士山を世界遺産にするために、みんなががんばって活動をしています。富士山のかん境を整えるとともに、小山町も、そこに住む人たちもさらに元気になっていくと思います。

かん境整備といえば、おとし集中ごう雨がやってきて、小山町は大変な被害をうけています。たくさんの人たちががんばって復旧工事をしてくださっていますが、いまだに復旧していないところがあります。川岸がけずれてしまったり、くずれてしまったりしたところの近くに住んでいる人たちは、いまだに不安だろうし、復旧工事のためのそう音やゆれになやまされている人もいます。

だから、早く工事が終わるように工夫をしてもらえるとありがたいです。

また、工事期間中は、ぼく達子どもやお年寄りも安心して歩けるよう、安全に配慮してもらいたいです。

明るい小山町にするために、ぼく達も協力します。

議員視察研修

一町内事業所4か所を視察一

8月30日(木)、全議員が参加し、議員町内視察研修を実施。午前中、ユニバーサル製缶(株)、次いで(株)リンガーハットの2社を訪問。

それぞれ会社の概況説明を受けた後、白衣等に身を包み、衛生管理に細心の注意を払いながら工場内を視察。中が騒音で聞こえないとの事でヘッドマイクを使用しての説明であったが、皆説明に耳を傾け、時折質問等をして製品の作られる工程に感心しつつ、興味深く研修する事ができた。

2社とも食の安全・安心を保証するアルミ缶や長崎ちゃんぽん等の製造に一生懸命取り組んで

おり、今後更なる成長が期待出来るものと思われた。

午後、(株)デンソーのソフト秀峰と共栄火災海上保険(株)の富士研修センターを訪問。共に社員の研修や保養の為に施設であるが、会議場や宿泊施設等が長く整備され、感心させられた。

4社とも小山町の為、会社で出来る事



▲ユニバーサル製缶富士小山工場にて

皆さんの声を募集しています!

町づくりや子どもの教育のことなど、どんなことでも結構です。あなたの住所、氏名、電話番号を明記してメール、ファックスやお手紙で気軽にお寄せください。

御応募いただいた内容は、広聴委員会で選考し、御本人に承認していただいたうえで「議会だより」に掲載することとします。

会議録の閲覧ができます

議会だよりは、紙面の都合により、議員や町長等の発言を要約して掲載しています。詳しく知りたい方は、図書館で閲覧できますので、御覧ください。

なお、9月定例会の会議録は、11月下旬から閲覧できる予定です。

議会だよりは、町のホームページに掲載していますので、御覧ください。

小山町のホームページ <http://www.fuji-oyama.jp>

議会へのメールアドレス gikai@fuji-oyama.jp

編集後記

今年は何事か100周年ということ、記念行事が目白押しである。議会関係の事業は、道の駅「ふじおやま」の北側の田を地主さんの御好意により借りることができて、初めての「田んぼアート」に農業委員会、認定農業者の皆さんと議員全員で挑戦した。初めてですから複雑なデザインはできないが、「いい出来だね」と自由自覚。7月には「こども議会」を開催、小学生のてきぱきとした発言に、姿勢を正した議員もいたとこないとか。9月定例会では、こども議会を意識してか、活発な論議が繰り広げられたように感じた。

8月は記念式典とハンドレッドフェスティバルに「働く車」に議員全員が農耕者でパレードに参加。一輪車からリヤカー・コンバインに至るまで11車両を運んで、観客の拍手を浴びた。ある議員は「自衛隊の10式戦車より、歓声があつたと感じた」と興奮気味に話している姿に胸に込み上げるものがあった。そして、「相刈り」。今までどそれだけの人がこの田んぼアートを、感動してくれたのだろうか。(記 廣嶋邦彦)

- 委員長 藤野 邦彦
- 副委員長 高畑 博行
- 委員 湯山 鉄夫
- 委員 渡辺 樹郎
- 委員 阿部 司

